



## 総務常任委員会議案審査報告書

1. 第 56 号議案 町田市個人情報保護条例の一部を改正する条例
1. 第 57 号議案 町田市市税条例の一部を改正する条例
1. 第 51 号議案 平成29年度（2017年度）町田市一般会計補正予算（第2号）

本委員会は、9月7日付託された上記議案審査の結果、「原案を可決すべきもの」と決定しましたので報告いたします。

1. 認定第 1 号 平成28年度（2016年度）町田市一般会計・特別会計歳入歳出決算認定について

本委員会は、9月7日付託された上記議案審査の結果、下記の附帯決議を付し、「認定すべきもの」と決定しましたので報告いたします。

### 記

次の意見は、全員一致をもって可決したものである。

#### 1 一般会計

（歳出）

総務費

- （1）電力自由化に伴い、契約の見直しや自然エネルギーを供給源としたエネルギー利用を促進しながらLED化なども合わせて公共施設の光熱費削減に努められたい。
- （2）公共工事等の市内事業者の受注率を高めるとともに、市内の雇用拡大につながっているか検証されたい。
- （3）土木・建設業者の工事発注に関して、町田市が実施する防災訓練や、風水雪害の復旧作業に積極的に参加する市内業者に加点されるよう図られたい。
- （4）入札参加者の選定に係る市内事業者及び準市内事業者の取り組み基準を定め、営業実態のない市内事業者・準市内事業者の参入を防ぎ、本来の意味での市内の経済循環や市内業者の育成に努められたい。
- （5）職場の働きやすさ、人材育成においては、正規職員のみならず嘱託員等の状況をしっかりと把握し、多様な働き手にとってもワーク・ライフ・バランス等に考慮した、より効果的で充実した人材育成施策に一層努められたい。
- （6）広報活動については、メディアで取り上げられた内容をHPやSNSと連動させるな

ど、より一層の効率的な発信をされたい。

- (7) オペレータの完結率については、より一層向上に取り組みたい。また、完結率については全庁的に必要性を周知されたい。
- (8) 総合案内のサービスについては、目標を高く設定し、更なる市民満足度の向上に努められたい。
- (9) 決算の分析にあたり、経常収支比率については、臨時財政対策債を加えない比率で近隣市・同類型・同等市との比較をされたい。
- (10) 個別の事業目的に用途をうたった「ふるさと納税」に関しては、その収支のバランスを図られたい。
- (11) 公共施設再編計画については、短期実行計画の対象となっている直営43施設も含めて市民と丁寧な合意形成を基本にすすめられたい。
- (12) 業務改革・改善の取り組みについては、横のつながりが重要である。今後も継続してファシリテーターの育成をされたい。
- (13) 市税等の滞納者に対する公債権対策については、丁寧な納税相談を基本に、滞納理由などを十分聴取した上で、生活再建や分納、減免情報を提供されたい。

#### 労働費

- (14) 技能功労者表彰については、技術者にも事業者にとってもより魅力的な制度になるよう、また受賞者本位の会となるよう改善を図られたい。

#### 農林費

- (15) 農地あっせん事業で新規に貸し出せる農地が少なくなっているとの事、遊休農地解消と耕作者が働きやすい環境づくりに向けて努力されたい。
- (16) 「町田市学校給食食材供給事業」については対象を「中学校」にも広げ、地場農産物を給食食材として供給し、市内農業の振興に努められたい。
- (17) 農地・農道整備に水路整備を加え、要望対応はもとより、「町田市北部丘陵活性化計画アクションプラン」などで市も主体的に計画、整備を促せられたい。

#### 商工費

- (18) 創業支援については、女性・シニア創業の目標を定め、町田市の特徴として推進されたい。
- (19) 新・元気を出せ商店街事業補助金については、明白に商店街の発展につながる事業内容に転換されたい。
- (20) 中小企業融資の利子補給については、創業支援の観点を取り入れ対象企業の拡大に努められたい。
- (21) 観光案内については、市外来訪者や外国人観光客にとって、町田の魅力が伝わり、かつ相談しやすいよう、駅前での案内方法により工夫されたい。
- (22) 観光コンベンション協会への補助金のあり方を精査し、事業ごとの評価、検証を行うように努められたい。

- (23) 小野路宿里山交流館の貸し室等については、市民への周知を図り、利用促進をすすめられたい。
- (24) 観光バス発着所の案内看板については、利用者本位で早々に作成されたい。

次の意見は、賛成多数をもって可決したものである。

## 1 一般会計

(歳出)

総務費

- (25) 職員定数については、他の類似自治体とのベンチマーキングをすすめながら、業務改善と量の平準化を図り、時間外勤務時間をへらすための職員配置と職員の増員に努められたい。

商工費

- (26) 観光事業費のW i - F i 設置については、民間事業者と町田市の配線エリアのすみ分けを行い、委託費(予算)の縮減に努められたい。

平成29年(2017年)9月15日

総務常任委員長 松岡みゆき

議長 吉田つとむ様

総務常任委員会継続審査申出書

本委員会は、会議規則第111条の規定により下記のとおり閉会中もなお継続審査を要するものと決定しましたので申し出ます。

記

1. 請願第8号 市民生活に根ざした「公共施設再編計画」の策定を求める請願

理由 文言の整理を必要とするため。

平成29年（2017年）9月15日

総務常任委員長 松岡 みゆき

議長 吉田 つとむ 様

## 健康福祉常任委員会議案審査報告書

1. 第 51 号議案 平成 29 年度（2017 年度）町田市一般会計補正予算（第 2 号）
1. 第 52 号議案 平成 29 年度（2017 年度）町田市国民健康保険事業会計補正予算（第 2 号）
1. 第 54 号議案 平成 29 年度（2017 年度）町田市介護保険事業会計補正予算（第 1 号）
1. 第 55 号議案 平成 29 年度（2017 年度）町田市後期高齢者医療事業会計補正予算（第 1 号）

本委員会は、9 月 7 日付託された上記議案審査の結果、「原案を可決すべきもの」と決定しましたので報告いたします。

1. 認定第 1 号 平成 28 年度（2016 年度）町田市一般会計・特別会計歳入歳出決算認定について

本委員会は、9 月 7 日付託された上記議案審査の結果、下記の附帯決議を付し、「認定すべきもの」と決定しましたので報告いたします。

### 記

次の意見は、全員一致をもって可決したものである。

#### 1 一般会計

##### （歳出）

##### 民生費

- （1）障がい者支援センターにおいては、専門的対応が必須である。一般就労された障がい者が、勤務先をやめ戻った時のフォロー体制の充実を含めより一層の市役所からの指導・研修・サポートをしっかりと行われたい。
- （2）高齢者あんしんキーホルダーは、高齢者人口の約 15.3%に行き渡っている。寝たきりの方、施設入所の方を除く、約 9 万人への配布アプローチを実施されたい。
- （3）高齢者福祉センター（ふれあい館）の利用者数が全体的に減少している。方策を取り利用者数の増加を図られたい。
- （4）生活困窮者に対する就労支援による就労率の向上と就労後の定着率を更に努められたい。

## 衛生費

- (5) 成人健診事業の受診者数が、胃がんリスク検診のみならず全体的に減少している。受診勧奨をすすめ、受診者数の増加に努められたい。
- (6) 乳がん検診、大腸がん検診の年齢の引き下げを図られたい。
- (7) わくわくワクチンへの登録者数は順調に伸びているが、アクセス数が伸び悩んでいる。使いやすさ・内容の充実等を図り、アクセス数の向上にも努められたい。

## 2 特別会計

### 介護保険事業会計

- (8) 介護保険事業会計において、保険料未納者への延滞金等の徴収強化が行われたが、生活実態に応じた指導を行い、無理な徴収は行わないよう取り扱われたい。
- (9) 要介護度改善ケア奨励事業の更なる改善を図られたい。

### 後期高齢者医療事業会計

- (10) 後期高齢者医療事業会計において、保険料未納者への延滞金等の徴収強化が行われたが、生活実態に応じた指導を行い、無理な徴収は行わないよう取り扱われたい。

次の意見は、賛成多数をもって可決したものである。

## 1 一般会計

### (歳出)

#### 民生費

- (11) 生活保護費返還金の未収金が増加傾向にある。改善が図れるよう、不正受給対策の強化を図られたい。

## 2 特別会計

### 介護保険事業会計

- (12) 介護給付費準備基金積立金は、次期介護保険計画の中で取り崩し、保険料の上昇抑制を図るとのことだが、基金は市民が納めた介護保険料の余剰金なので、しっかりと検討して有効に活用されたい。

1. 認定第 2 号 平成28年度（2016年度）町田市病院事業会計決算認定について

本委員会は、9月7日付託された上記議案審査の結果、下記の附帯決議を付し、「認定すべきもの」と決定しましたので報告いたします。

記

- (1) 当年度純損失 336,838,094 円に対し、医療の質を上げること、医師確保を行うこと、救急医療体制の充実を図ること等を踏まえ、経営安定を行うよう図られたい。
- (2) 病床利用率が目標値 86%に対して、ここ5年間の推移をみると目標値に達していない。医師不足とも関連するとのことで、病床の安定的稼働のためにも、不足している診療科の医師確保に努められたい。
- (3) 患者満足度アンケートの結果が、目標値である入院 90%超・外来 85%超に対して、入院 84.3%・外来 79.9%であり、前年度比でも減少している。方策を施し、満足度向上に努められたい。
- (4) 企業債の融資資金を見ると、利率 2.1%台が多い。市と連携し、引下げの協議を検討されたい。

平成29年（2017年）9月15日

健康福祉常任委員長 森 本 せいや

議長 吉 田 つとむ 様

## 文教社会常任委員会議案審査報告書

1. 第 58 号議案 町田市消防団に関する条例の一部を改正する条例
1. 第 59 号議案 町田市子どもセンター条例の一部を改正する条例
1. 第 63 号議案 2017年度町田市防災行政無線子局設備再構築工事請負契約
1. 第 70 号議案 南大谷学童保育クラブの指定管理者の指定について
1. 第 71 号議案 南大谷子どもクラブの指定管理者の指定について
1. 第 72 号議案 木曽子どもクラブの指定管理者の指定について
1. 第 51 号議案 平成29年度（2017年度）町田市一般会計補正予算（第2号）

本委員会は、9月7日付託された上記議案審査の結果、「原案を可決すべきもの」と決定しましたので報告いたします。

1. 認定第 1 号 平成28年度（2016年度）町田市一般会計・特別会計歳入歳出決算認定について

本委員会は、9月7日付託された上記議案審査の結果、下記の附帯決議を付し、「認定すべきもの」と決定しましたので報告いたします。

### 記

次の意見は、全員一致をもって可決したものである。

#### 1 一般会計

##### （歳入）

- （1）小中学校の施設維持補修費用確保のため、国庫補助採択へ、国に強く働きかけられたい。

##### （歳出）

##### 総務費

- （2）振り込め詐欺防止策の更なる推進と、その効果の検証を進められたい。
- （3）市民課窓口において、多言語対応を充実するため、ICT化の推進を検討されたい。

##### 民生費

- （4）義務教育就学児医療費助成について、所得制限撤廃、通院費無料への財政、制度的支援を国や東京都に求められたい。

- (5) 民間も含め、常設の赤ちゃん・ふらっと（授乳室）の更なる整備と、災害時にも必要となる「授乳・おむつ替え用テント」の周知・推進に努められたい。
- (6) 低年齢児をはじめとした待機児童解消のため、認可保育所などの施設の増設を進められたい。
- (7) 新たなまちともについて、運営協議会の負担をできるだけ軽減できるよう工夫されたい。
- (8) 学童保育クラブ（指定管理）の指導員の賃金引き上げなど、処遇改善を進められたい。

#### 商工費

- (9) 消費生活センター運営協議会の取り組みを積極的にPRし、市民生活向上への啓発活動を更に充実されたい。

#### 教育費

- (10) 学校教育部においては、公立小中学校校長会など各種団体から出された要望について、教育環境充実のため、できる限りの対応をされたい。
- (11) 小中学校の備品購入費、消耗品費など必要な予算が学校に再配当されるようにされたい。
- (12) 町田第一中学校改築事業において、体育の授業等を行う校庭の代替地として、「町田シバヒロ」も使用できるようにされたい。
- (13) 小学校通学路防犯カメラ整備事業については、整備後の維持管理費の財源確保に努めるとともに、映像データの取り扱い業務について、所管換えを含めた業務体制の見直しを検討されたい。
- (14) 中学校給食の利用を希望している方が利用しやすいよう改善し、利用者拡大につながるよう更に検討されたい。
- (15) 喫食率が低い中学校給食の今後のあり方について、学校給食問題協議会で十分に検討されたい。
- (16) 家庭学習の推進については、市教育委員会としても積極的に取り組んでいる。引き続き、積極的な体制づくりとともに、事業成果を確認できるよう対応願いたい。
- (17) 教育相談事業については、相談件数が増加傾向にあることから、ニーズの高い事業といえる。引き続き、人員配置、相談スペースの確保など環境の拡充に努められたい。
- (18) 文化振興費について、シティセールス事業参加者数の目標値に対し、実績が減少傾向にある。また、目標値と実績に大きな乖離があるため、事業目的の明確化、目標値の再設定も含め検討されたい。
- (19) 自然休暇村の宿泊施設利用者数が減少傾向にある。主な理由として、市内小学校の移動教室の利用減があげられる。利用できない理由に対しての対策を検討されたい。
- (20) 生涯学習センター事業については、センターの利用率向上に向け、若年層に対して、更に魅力ある講習やイベント等の提供に努力されるとともに、多くの市民に対して生涯学習を推進する機能を担っていることから、センター利用者数だけでなく、事業の意義を踏まえた成果指標のあり方を検討されたい。

- (21) 文学館事業について、開館以来最高の展覧会観覧者数を達成できたことを高く評価する。引き続き、柔軟な発想で観覧者数の確保に努められたい。
- (22) 「今後10年の町田市民文学館のあり方について」の答申（2017年3月）を生かした取り組みを進められたい。
- (23) 国際版画美術館の総来館者数を増やす取り組みについては、外国人観光客など新たなターゲットも視野に入れ積極的に進められたい。
- (24) クラブハウス事業について、施設整備においては、事業意図と照らし合わせ、適切な施設規模の検討など、効率的かつ効果的に進められたい。

次の意見は、賛成多数をもって可決したものである。

## 1 一般会計

(歳出)

民生費

- (25) 100名を超える大規模学童保育クラブについて、施設の増設などを進められたい。

教育費

- (26) 文化芸術ホール事業については、比較対象になる先進自治体の事例や、事業手法などをより一層研究されたい。

平成29年（2017年）9月21日

文教社会常任委員長 三遊亭 らん丈

議長 吉田 つとむ 様

文教社会常任委員会請願審査報告書

1. 請願第 7 号 鶴川図書館を鶴川団地センター商店街の中に存続させることを求める  
請願

請願者 町田市鶴川 6-7-4-2-209  
富岡秀行 外 5, 621 人

本委員会は、9月7日付託された上記請願審査の結果、「採択の上執行機関に送付し、その処理の経過及び結果の報告を請求すべきもの」と決定しましたので報告いたします。

1. 請願第 10 号 北朝鮮のミサイル避難訓練の実施を求める請願

請願者 町田市鶴川 2-11-3-504  
倉橋幸二

本委員会は、9月7日付託された上記請願審査の結果、「採択の上執行機関に送付し、その処理の経過及び結果の報告を請求すべきもの」と決定しましたので報告いたします。

平成29年（2017年）9月21日

文教社会常任委員長 三遊亭 らん丈

議長 吉田 つとむ 様

## 文教社会常任委員会継続審査申出書

本委員会は、会議規則第111条の規定により下記のとおり閉会中もなお継続審査を要するものと決定しましたので申し出ます。

### 記

1. 請願第 16 号(27) いじめ事件に対して真摯に取り組むことを求める請願

理由 係争中の案件であるため。

1. 請願第 1 号 玉川学園コミュニティーセンター建替えに伴うペDESTリアンデッキ設置に関する請願

理由 なお調査を要するため。

1. 請願第 2 号 玉川学園コミュニティー・センター建替事業に伴うデッキ設置計画の見直しに関する請願

理由 なお調査を要するため。

1. 請願第 3 号 玉川学園コミュニティーセンター建替事業に伴うデッキ設置に至った経緯及び設置に伴う工事分担費用に関する請願

理由 なお調査を要するため。

1. 請願第 9 号 玉川学園コミュニティーセンター建替事業（「デッキ」新規設置事業含む）の見直しに関する請願

理由 なお調査を要するため。

平成29年（2017年）9月21日

文教社会常任委員長 三遊亭 らん丈

議長 吉 田 つとむ 様

## 建設常任委員会議案審査報告書

1. 第 60 号議案 町田市営住宅条例の一部を改正する条例
1. 第 68 号議案 市道路線の認定について
1. 第 69 号議案 市道路線の廃止について
1. 第 73 号議案 金森市民住宅外 1 箇所の指定管理者の指定について
1. 第 51 号議案 平成 29 年度（2017 年度）町田市一般会計補正予算（第 2 号）
1. 第 53 号議案 平成 29 年度（2017 年度）町田市下水道事業会計補正予算（第 1 号）

本委員会は、9 月 7 日付託された上記議案審査の結果、「原案を可決すべきもの」と決定しましたので報告いたします。

1. 認定第 1 号 平成 28 年度（2016 年度）町田市一般会計・特別会計歳入歳出決算認定について

本委員会は、9 月 7 日付託された上記議案審査の結果、下記の附帯決議を付し、「認定すべきもの」と決定しましたので報告いたします。

### 記

次の意見は、全員一致をもって可決したものである。

#### 1 一般会計

（歳出）

衛生費

- （1）自然エネルギー利用機器等設置補助金については、地球温暖化防止を推進していくうえで、重要な取り組みであり、市民ニーズも高いことから再度復活を検討されたい。
- （2）町田市行政で設置している太陽光発電の活用状況を把握できるようにされたい。
- （3）燃料電池自動車 MIRAI においては、理事者の公用車としての積極的な利用を促進するなど、活用を図られたい。
- （4）引き続き合併処理浄化槽設置補助制度が利用できるよう積極的にアピールされたい。
- （5）熱回収施設等整備運営にあたっては、市がチェック機能を果たせるよう、仕組み作りと職員の力量を確保するよう努められたい。
- （6）家庭用生ごみ処理機の普及により一層努められたい。

- (7) 食品ロス削減のための取り組みをより一層努められたい。
- (8) 市民一人一日あたりのごみの排出量は、2016年度 714 g となった。2020年度の目標値 724 g をすでに達成しており、目標値の検討を早急に実施されたい。
- (9) 収集には、一定の費用がかからざるを得ない中、市民の協力でごみ量が着実に減少している。ごみ量 1 t あたりのコストの指標を使用することについては、見直しをされたい。
- (10) 新たに始めた南地域の容器包装プラスチックごみの分別収集については、当初目標 1,000 t に対して 576 t という実態をレビューし、市民の協力をより一層得られるよう努力されたい。

#### 土木費

- (11) 老朽化した道路橋梁維持補修については、安全性を確保するため、優先的事業として進められたい。
- (12) 狭隘私道移管事業においては、私道であることのデメリットを地権者等に説明し、理解を得て、積極的に推進されたい。
- (13) 準幹線道路忠生 579 号線の整備については、資源化施設等への影響もあることから、地域要望への対応を円滑に行うなど全庁的に取り組まれたい。
- (14) 防災の観点からも狭隘道路も含め、更なる無電柱化の推進に努められたい。
- (15) 街路灯の LED 化については、できるだけ早急に進められたい。
- (16) 放置自転車等対策事業では、創意工夫をされていることについては評価するところであるものの、放置自転車対策に充当される費用 8,629 万円を市民に広く周知し、市民の協力を得られるよう努められたい。
- (17) 住所整理事業を進めるにあたっては、事業の必要性を検討し、自治会・町内会の窓口とともに関連地域住民全体に丁寧な情報提供と課題の共有を図られたい。
- (18) 地域コミュニティバス運行事業においては、特に相原ルートの取り組み等、他地域に適用できるようノウハウの蓄積に努められたい。
- (19) 玉ちゃんバス等、地域コミュニティバス運行事業においては、利用状況調査を行い、混雑して乗れない人がいないよう努められたい。
- (20) 地域コミュニティバスの運行にあたっては、道路部とも連携して道路状況の改善を図り、住民の要望するルートの実現に努力されたい。
- (21) 地域コミュニティバスのシルバーパス利用が可能になるよう、今後も東京都に要望されたい。
- (22) 路線バス利用促進事業においては、交通空白地区の移動環境向上のために、地域住民の要望に丁寧に答え、交通空白地区解消に努められたい。
- (23) 多摩都市モノレール延伸により一層努められたい。
- (24) 公園台帳については、法律に定められているからといって作成するだけでなく、そこから状況を把握するなど積極的な活用を図られたい（パークマネジメント等）。
- (25) サン町田旭体育館の会議室等においては、利用条件を緩和するなどをし、利用率向上に努められたい。

- (26) 公園駐車場有料化においては、市民負担がないようにし、更なる負債が生じないように見直しをされたい。
- (27) 薬師池公園ゲートハウスに関しては、庁内連携をしっかりと図り、マーケティングをしっかりと行い、コンセプトを明確にし、採算性がとれるようあり方を検討されたい。
- (28) 町田市立陸上競技場の観客席増設については、リスクも含め広く市民に周知し、理解を得るよう努められたい。
- (29) 小野路球場において利用状況等を前年度と比較する際は、閉鎖期間を考慮せずに比較し利用が下がったとの見解を出していたので、利用状況を比較する際は同条件で比較されたい。
- (30) 団地再生に向けた取り組みでは、今後もUR都市機構やJ K K東京との連携をさらに深められたい。

## 2 特別会計

### 下水道事業会計

- (31) 老朽化した下水道管渠維持補修については、安全性を確保するため、市全体の事業の中で優先的に位置づけ進められたい。その際、市内業者にも工事ができるよう工夫されたい。
- (32) 下水道接続が困難な場所については、丁寧に相談に乗り、水洗化を進められたい。

次の意見は、賛成多数をもって可決したものである。

## 1 一般会計

### (歳入)

- (33) 時効が発生する事案に関しては、原因が発生した時点で適用される法令などを検討し、不納欠損が生じないように努められたい。

### (歳出)

#### 土木費

- (34) 玉川学園前駅周辺整備事業においては、バリアフリー促進など、地域要望を鑑み、速やかに実現されたい。
- (35) 職員や予算が限られている中、多くの地区街づくりが進んでいる。将来を見据えた街づくりを確実に行うためにも魅力ある街づくりのコンセプトを構築し、民間活力を積極的に検討されたい。

平成29年（2017年）9月21日

建設常任委員長 白川 哲也

議長 吉田 つとむ 様